

以
籀
體

籀

采

采

→ 巾の二と

下

下

気脈

菊

菊

5.6.9.10の
点の形角度に注意

すまじま

東

東

止めてすじに筆を
あける

菊を采る東籀の下

東側の垣根のほとりて菊を手折る、の意。
悠々自適の境地を詠んだもの。

(晋・陶潜「飲酒」の詩より)

王羲之の
「蘭亭序」
「集字聖教序」
「興福寺断碑」
から字を集め倣書で
書いています